

【各学年のグランドデザイン】

個別支援学級

何ができるようになるか
○各教科等で育成する資質・能力

知的級：あらゆる場面を通して、言葉や数感覚を獲得し、自分自身のことを伝える手段や、生活していく中で必要とされる力を小集団の中で身に付けていくことで、他者への意識を育み共に学ぶ力を育むことができる。
情緒級：国語・算数・生活・理科・社会は基本的には学習指導要領に沿った学習を行いながら、自分の思いや考えをもち、個々の課題を前向きに解決していくことができる。

何が身に付いたか
○各教科等の学習評価

知的級：生活や学習など様々な場面で、少しずつではあるが必要な言葉や数感覚を身に付けている。
情緒級：各教科の学習を通して、個々の思いや願いに応じて課題を解決していき、友達と一緒に前向きに取り組んでいる。

子ども達の発達を
どのように支援するか
○配慮を必要とする
子どもへの指導

子ども達の実態
知的級：当該学年の学習をするのが難しい児童が多いため、下学年や特別支援学校相当の学習に取り組み、個に応じた学習を進めている。
情緒級：当該学年の学習をしている児童の他に、下学年の学習を進めている児童もいる。既習の学習を常に振り返り学力の定着を進めている。

目指す子ども達の姿
知的級：できる喜びを感じ、自分のことは自分でしようとする。友達とつながり、一緒に活動することを楽しもうとする。
情緒級：自分の課題に積極的に取り組み、学習で身に付けた力を生活に生かそうとする。友達を思いやり、つながり、ともにやり抜こうとする。

何を学ぶか
○各教科等の教育課程の編成

○個別支援学級の年間カリキュラムを作成するにあたって、個に応じた課題に取り組む活動ができるよう、個別支援学級の担任含め支援員全員が、全児童のことを理解しながら対応する。
○国語や算数、理科、社会などの教科は個別学習の時間にそれぞれの指導計画に則って行われる。音楽、図工、体育などの技能教科は児童の実態に応じて、クラス全体や各グループで学習を進め、個々の課題に応じて支援を行っていく。
○なかよし活動では、バディの友達と仲良く活動できるようにする。

○個別の支援計画・指導計画に基づいて
個々の課題に合わせた指導を行っていく。

どのように学ぶか
○各教科等の授業の実施

○スモールステップで学習に取り組み、自分ができたことを理解しながら学習に取り組めるようにしていく。
○児童の実態を考え、全体指導と個別指導とを織り交ぜた学習の体制を取っていく。そして、児童が目標を理解することができるよう課題別の学習を行っていく。
○交流級の活動では、担当が交流級での活動内容を適切に把握し、その時間に児童が安心して取り組めるようにする。

実施するために何が必要か
○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

○児童の実態をしっかり捉え、家庭と連携し、全職員で全ての児童の対応について考え支援する。 ○情報を視覚化する。 ○個別最適な学びを実現させる。
○個別の支援計画、指導計画に基づき、個に応じた学習の手立てを担任間で共有、連携し指導を進めていく。 ○懇談会等の内容を充実させる。

各教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成

○算数や、生活などを通して様々な教科等が、生活で必要とされていることに気付くことができるようにする。 ○汎用的な資質・能力を育成する。
○個々に応じて情報活用能力を育成する。